北朝鮮ミサイル

北朝鮮は12日、北西部の亀城から弾道ミサイル1発を発射。ミサイルは日本海に落下しました。国連安保理は発射を強く非難する声明を発表、北朝鮮制裁について「さらなる重大な措置をとる」と警告しています。

志位委員長が談話 発射に強く抗議

日本共産党の志位和夫委員長は12日、以下の談話を発表しました。

一、北朝鮮は本日12日午前、同国北西部から日本海に向けて、弾道ミサイルを発射した。北朝鮮の行動は、核兵器の開発と不可分に結びついた軍事行動であって、国際の平和と安全に深刻な脅威を及ぼす行為であり、国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壌宣言に違反する暴挙である。

核兵器禁止条約の国際会議がいよいよ重要

日本共産党

日本共産党は、北朝鮮の行為を厳しく非難し、抗議する。このような軍事挑発の道は、北朝鮮自身にとっても未来のない道であることを、厳重に警告する。

一、北朝鮮に核・ミサイル開発の放棄を迫るうえでも、3月から国連で始まる核兵器禁止条約に関する国際会議の成功がいよいよ重要となっており、わが党はそのために力をつくす。

総選挙 近畿の比例代表予定候補 日本共産党

こくた恵二
党国対委員長
現・8期（京都1区重複）

宮本たけし
党衆院国対副委員長
現・3期

清水ただし
党准中央委員
現・1期（大阪4区重複）

堀内照文
党准中央委員
現・1期（兵庫8区重複）

わたなべ結
党大阪常任委員
新（大阪3区重複）

制度解説 衆院選挙投票方法

比例代表は「日本共産党」と政党名を書きます

選挙区は「候補者の名前」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。

折り目

あまりに異常 トランプ追随

危険 「米国第一」＋「日米同盟第一」

安倍首相とトランプ米大統領は10日（日本時間11日）、初の首脳会談を行いました。「米国第一」を掲げるトランプ政権に対して、安倍首相が「日米同盟第一」の立場で追従。安保政策でも経済政策でも、異常な“トランプ追随”が際立ちました。

日米首脳会談で浮きぼり

対等・平等・友好の日米関係を

首脳会談では、「日米同盟の強化」が強調され、「日本はより大きな役割・責任を果たす」「引き続き防衛協力を実施、拡大する」などが合意されました。米軍と自衛隊が地球規模の軍事協力――「海外で戦争する国」づくりをさらに推進するという誓約です。

経済問題で首相は、「日本は大統領の成長戦略に貢献し、アメリカに新しい雇用を生み出すことができる」とのべました。トランプ大統領の国内経済政策に、日本が全面的に協力し、貢献することを一方的に表明することは、異常な「貢ぎ物外交」というしかありません。「日米同盟第一」の硬直した思考を抜本的に見直すべきです。

日本共産党

近畿民報
2017年2月 No.4（第267号）
発行／日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06（6975）9111 Fax.06（6975）9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。